

所 報

第 3 1 号 1997年10月発行
発 行 人 翁 長 良 盛
発 行 所 沖縄県立教育センター
〒904-21 沖縄県沖縄市与儀587番地
電 話 098-933-7555
F A X 098-933-3233

雑 感

副 所 長 高 嶺 朝 勇



大空に秋の雲が広がり、各地に運動会たけなわとなりました。教育センターでは、平成9年度前期長期研修の成果報告会と修了式を済ませたところであります。今年、私の所属する教育経営研修課では、成果報告会

でパワーポイントをはじめ様々な機器を駆使したスマートな発表が目立ちました。また、社会科の授業で、コンピュータ通信を活用して県外の学校とディベートを行う研究など、情報化時代を実感させる取り組みもありました。

当センターでは、去る8月に「夏休み親子開放教室」の一環として「おもしろ科学教室」を開催し、約400人の親子が手軽な実験で楽しく学習しまし

た。親も子も夢中になって終了時間を大幅に延長するほど熱気にあふれておりました。

さて、県内では国際都市形成構想や全県フリーゾーン構想などの議論が盛んに行われております。いずれも沖縄の将来にとって重要な構想だと思いますが、これらの構想を支えるためのスペシャリストが県内には十分に育っていないという指摘もあります。そのような観点から将来の沖縄の自立を考えると、教育においては、理科教育やコンピュータを含めた産業教育の充実が一層重要になっているのではないでしょうか。このような時期に、産業技術教育センターが平成10年度のオープンをめざして着工されることは、産業教育充実の観点から大変喜ばしいことであります。

私たちは、今後、総合的な教育センターとしての自らの役割を自覚し、学校現場との連携・協力を推進しつつ調査研究事業、研修事業、教育普及事業、教育相談事業の充実を図り使命を果たしたいと願っております。各方面のご理解と一層の協力を切にお願い申し上げます。

目 次

雑 感	- 1 -
「研究室だより」	
【初任者研修研究室】今こそ、基礎固めの時.....	- 2 -
【生 活 科 研 究 室】身近な素材を生活に生かす.....	- 3 -
【初 等 理 科 研 究 室】やっていますか？環境にやさしい生き方.....	- 4 -
・短期研修講座を終えて.....	- 5 -
「親子開放教室」	- 6 -
「心身障害児教育相談」	- 7 -
「平成9年度長期研修員（前期）研修テーマ一覧」	- 8 -

研究室だより

【初任者研修研究室】

今こそ、基礎固めの時

文部省は、臨時教育審議会の教育改革に関する第二次答申を受けて、昭和62年度から初任研を試行しました。本県は試行の当初から初任研に取り組みました。その後、平成元年度の小学校の本格実施を皮切りに、年度毎に中学校、高等学校、そして特殊教育諸学校と本格実施されました。

初任者研修はその目的に、初任者に対して「実践的な指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる」とうたっております。そしてその所期の目的を達成するためには、学校及び関係機関が十分な理解と連携を図りながら組織的、計画的な研修を実施することが肝要です。

初任者研修は、校内における研修(年間60日程度)と、校外における研修(年間30日程度)及び文部省が実施する洋上研修で構成されています。校外研修は各市町村教育委員会、各教育事務所、義務教育課、高等学校教育課及び教育センターで実施しておりますが、昨年度からは高等学校と特殊教育諸学校における校外研修はすべて当教育センターで実施しております。また、小学校、中学校合同の校外研修(年6回)も教育センターで実施しております。そのため教育センターでは、教育経営研修課内に初任者研修研究室を位置づけ、教育センター全体で初任者研修に取り組んでいます。現在、主任研究主事1人、特殊教育課指導主事1人、そして特別研修員4人の計6人のスタッフで校外研修の企画運営にあたっています。

4月2日の開講式を皮切りに始まった今年度の初任研は、小学校58人、中学校141人、高校150人、そして特殊教育諸学校28人の総勢377人が研修を受けています。21世紀の沖縄の教育を担う新人先生たちは日々の教育実践や研修に真摯に取り組んでいます。9月末現在、特殊教育諸学校においては18項目、高等学校においては20項目、そして小・中学校においては5項目の研修を実施しました。

研修は、ふだんは午後1時30分から5時まで、夏

季休業中は朝9時から5時までの終日です。夏休みの間に初任者の先生方は以下のような研修に参加し熱心に取り組みました。

- ①特殊教育諸学校：宿泊研修(7/22～25)、情報教育(7/31)、企業体験(8/29)
- ②高等学校：情報教育・情報処理演習(7/23、7/24) 宿泊研修(8/4～8)、企業体験(8/22)
- ③小学校、中学校合同：道徳教育、心身障害児の理解(8/26)
- ④特殊・高校合同：ボランティア研修(7/29)、カウンセリング研修(8/19)、教育機器の活用(8/20)
- ⑤全校種合同：国際理解、伝統文化(8/27)

研修会後のアンケートによると、初任者の先生方は、これからの教育におけるコンピュータ等の情報教育が不可欠なものになること、魅力ある授業展開のために教育機器の活用が欠かせないこと、心身に障害のある人々とどのように共生すればよいかということ、そして自国(自らの身の回り)の文化を理解することが真の国際理解に通じるということを実感したことなどを研修の成果としてあげております。そして先生方一人一人がプロフェッショナルな教師になるための基礎固めをすることができたように思われます。

県立学校の初任者の先生方にとっては、平均すると月に2回の教育センターにおける校外研修ということになります。初任者研修研究室では、今後とも初任者の先生方の声に耳を傾けながら、先生方のニーズを汲み上げ、充実した研修会になるように努めたいと思います。そしてこの校外研修が、初任者の先生方の「実践的な指導力と使命感」を養い、先生方に「幅広い知見」を得させることができるよう、絶えず見直しを行っております。関係各機関の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



研究室だより

【生活科教育研究室】

指導主事 船 附 初 江

～身近な素材を生活に生かす～

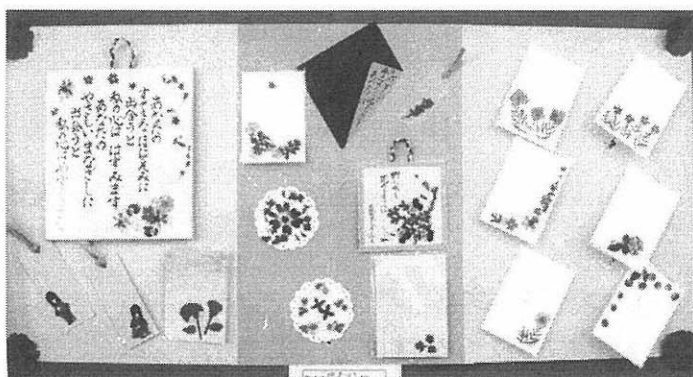
夏休み短期研修講座を終えて

学習指導要領の改訂により、平成4年度から完全実施された生活科は、今年度で6年目を迎えました。

生活科は、地域の自然や社会、人々と進んでかわり、具体的な活動や体験を通して子どもたちが体全体で学ぶ教科で「成すことによって学ぶ」「ふるさと学習」などと言われています。

具体的な活動や体験を通して子どもたちの心に感動をもたらし、子どもたちが得た感動体験は子どもの心に深く広く根を張り「生きる力」を培っていくと考えます。このような感動体験を支える要因のひとつに成就感や達成感があり「やったー!」「自分にもできた!」という喜びは子どもの心に感動を引き起こし、それは活動を更に発展させていこうとする意欲を生む原動力となります。

子ども達の感動を引き出すためにも教師自身が積極的に自然や社会にかかわり、直接体験することで満足感を味わうことが大切になります。



そこで、教師自身が直接体験を通して満足感を味わえるように夏休みの短期研修に、身近な野草を使って押し花実習を取り入れた講座を企画し実施しました。押し花のハガキや壁掛け、コースター等を作製する過程で教師も自然を見直す機会となりました。

受講した教師からは、「身近な野草にこんなにもかわいらしい花が咲き一生懸命生きていることを知り、改めて自然界を見直すよいきっかけづくりができた」との声、さらに「これまで栽培活動で育てたアサガオやヒマワリの花も観察や種取りで終わっていたが、今後は押し花にして残し、自分たちの生活に取り入れ、より豊かな生活ができるように工夫したい」との意欲的な声の聞ける研修講座が実施できました。

身近な草花を利用した押し花の実習たいへん楽しくやりました。普段は見向きもしない小さな花でも押し花にすると見事に変身することが楽しかったです。

—感想より—

※作り方については、当研究室までご連絡ください!

研究室だより

【初等理科研究室】

研究主事 宮城幸子

「やっていますか？」

環境にやさしい生き方・・・」

夏休みも終わりに近づいた8月26日、「環境教育指導者研修会」及び「小・中環境教育講座」が開かれました。募集人員をはるかに超える120名の参加があり、地球規模の環境問題から自分の足元までを見直すいい機会となりました。

以下、4日間の研修内容を紹介します。

1 環境教育モデル校・指定校の実践発表

(1) 具志川村立大岳小学校

松田哲哉教諭が、クロスカリキュラムの実践例を発表。久米島の豊かな自然とふれ合う子どもたちの姿が紹介されました。

(2) 南風原町立津嘉山小学校

居原田晃教諭がゴミ問題に取り組んだ3カ年間の実践を発表。はじめはとまどっていた子どもたちが、今では、ゴミを上手に分別できるようになり現在も続いているとの報告がなされました。

(3) 南大東村立南大東中学校

GLOBE観測に参加。インターネットを使って地球規模で気象観測に参加する子どもたちの様子や、南大東島の固有種であるダイトウオオコウモリの調査研究について奥土晴夫教諭から報告がありました。

(4) 県立嘉手納高校

校内美化と資源ゴミの回収についての同校の取り組みが紹介され、高校で難しいと言われている校内清掃についての提言が島袋和男教諭よりな

れました。

その後、小・中・高・特殊学校の4つの分科会に分かれ、各学校の発表を受けて討議が行われました。特に今年は、特殊学校部会が設置され養護学校における環境教育の取り組みが紹介なされたことは特筆すべきことです。

2 講演『とりもどそう沖縄の美しい海や川……赤土流出防止について』

上記の演題で、具志川市赤野にある株式会社「ていだ」の瀬底長恵氏に講演をしていただきました。

講演の中で瀬底氏は、「開発は人の住む環境を豊かにするものであり、決して自然を破壊するものではない。開発のあり方を環境と調和するエコロジカルな工法にしていかななくてはならない」と強調し、自社の開発した赤土防止剤を紹介されました。同時に大がかりな実験装置を用いて赤土が団粒化して清水に変わっていく過程を観察させてもらいました。



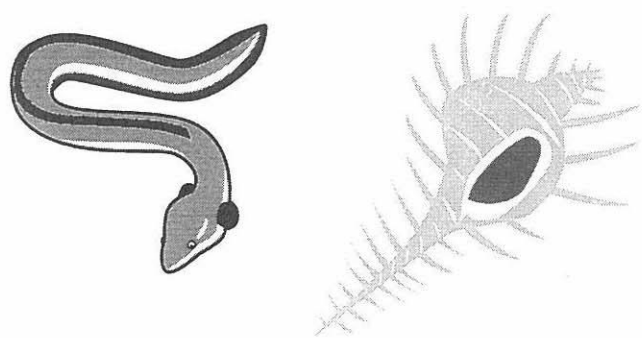
3 やんばる巡検コース

「やんばるゼロの会」の佐藤文保氏を講師に、やんばるの貴重な動・植物を紹介してもらいながら、倉敷ダムや大保川など、水と人間生活・開発のあり方などについて実地見学をしました。

特に参加者が関心を寄せたのは、大宜味村にある開発途中で放置されたままになっているゴルフ場です。かつて生き物たちの豊かな棲み家であったイタジイの森が荒れ地と化した現状を目の当たりに見て、開発のあり方について考えさせられた一日でした。

4 底生動物調査・水質検査コース

「小中環境教育講座」のメンバーは、水のきれいな三原ゲーヤ川（名護）と水の汚れた比謝川に出かけ、川底に棲む小動物の調査とバックテストによる水質検査で、川の汚れの度合いを調べる演習を二日ばかりで行いました。三原ゲーヤ川ではカワゲラやトビケラなどきれいな水にしか棲まない生物が数多く採集されました。一方、比謝川からはユスリカやドロムシ、サカマキガイなど汚れていることを示す生物が採集され、身近にある川の状況を把握することができました。



参加者の声

* 沖縄本島の現状を見てショックであった。沖縄の貴重な自然をすべて守っていけるような良い方法はないものかと思う。私にできることは、事実を子どもたちに伝えていくこと
(小学校)

* 大変良かった。勉強になりました。いろいろな所を実際に見て回ることにより、自然の大切さや素晴らしさを実感できました。講師の佐藤さんの熱意に感動しました。
(特殊教育諸学校)

* 環境問題について、地球規模の問題から川辺の小動物の棲む環境問題まで幅広くとても難しい問題だと思った。快適で便利な生活を追求している人間社会は、環境を悪化させない対策が絶対に必要である。
(高等学校)

5 「環境教育教材」の実践事例紹介と演習

「環境教育指導者研修会」の最終日は、室内でできる環境学習の実験・クイズ・ゲーム等が紹介された。

塩化ビニル製とポリエチレン製のラップを実際に燃やして、においや燃え方を比べてみた。塩化ビニルのラップを燃やすと、つんとした刺激臭がして塩化水素など環境に良くない物質が発生する。

ところが、ポリエチレンのラップを燃やすと、ろうそくのような臭いがして有害物質はほとんど出ない。日常、何気なく使っているラップ一つをとりあげても大気汚染などの環境問題と深く関わっていることを実験で確かめることができました。また、参加者は和気あいあいとした雰囲気の中でビンゴゲームやクイズ等で環境問題を考え演習を楽しむとともに、「環境教育は理科だけでなくいろいろな教科を通して取り組むことができること」を確認し合い研修日程を終了しました。

短期研修講座を終えて！

夏休み期間中「感動いっぱい！」「アイデアいっぱい！」の短期研修をめざして108講座を実施しました。

短期研修講座の応募率は、定員に対して小学校（145%）、中学校（105%）、高校（72%）、特殊教育諸学校（95%）でした。講座の参加者は1,462人で、教職員の10%が参加したことになります。

来年も「教育課題の研修」、「現場のニーズに合った研修」をめざします。



’ 97夏



おもしろ科学教室



瓶の中の空気を温めると上蓋のコインは？

親子開放教室

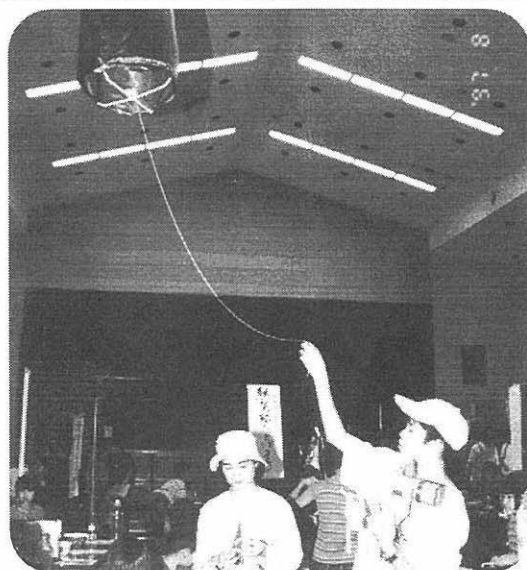
花づくり、野菜づくり園芸教室



水鉄砲づくり……



パソコンで遊ぼう！



熱気球を作って飛ばそう…

沖縄県立 教育センター 心身障害児 教育相談

■ 相談内容

- (1) 家庭における養育や躾に関すること
- (2) 知能、身体、聴力、言語等の検査に関すること
- (3) 障害に応じた早期教育や訓練に関すること
- (4) 障害に応じた就学、進路に関すること
- (5) 専門医による診断や検査に関すること

■ 対 象

心身に障害を持つ（疑いも含む）幼児児童生徒の
保護者及び関係者

■ 相談日時 月～金 9時～17時

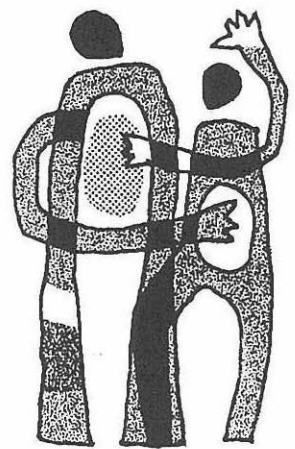
■ 嘱託医による医療相談

- | | |
|---------|---------------------|
| ① 整形外科 | 親 泊 元 信（沖縄整肢療護園 園長） |
| ② 小児科 | 外 間 登美子（琉球大学医学部助教授） |
| ③ 耳鼻咽喉科 | 日 賀 久 雄（日賀耳鼻咽喉科医院長） |
| ④ 眼 科 | 石 川 秀 夫（石川眼科医院長） |
| ⑤ 精神科 | 松 本 茂 幸（国立療養所琉球病院長） |

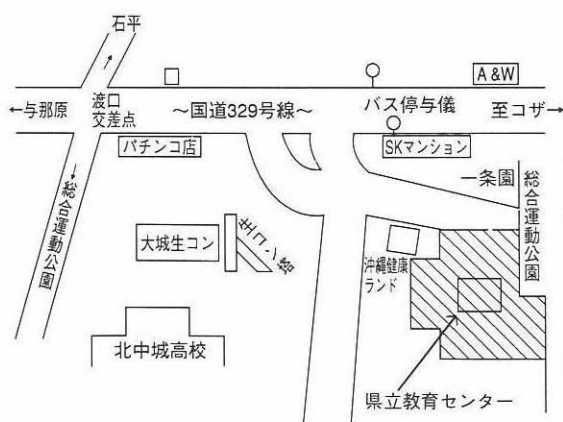
こんなときに…

- ・ うしろから呼びかけてもふりむかない。
- ・ 指示や話が理解できない。
- ・ 手足の動きがぎこちない。
- ・ 体が弱く戸外で遊べない。
- ・ 発音が不明瞭で話し方がぎこちない。
- ・ おちつきがなく、集中しない。

…ご相談下さい。



案内図



〒904-21 沖縄市字与儀587番地
電 話 (098) 933-7555
(内線 505)

■ 特殊教育課職員による教育相談

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 視覚・聴覚・言語障害教育 | 西 原 千 男 |
| ② 肢体不自由・病弱虚弱教育 | 横 山 久 |
| ③ 精神薄弱学習障害等・情緒障害教育 | 松 崎 保 弘 |

■ 平成9年度配置学校と就学相談員

- | | |
|--------------|---------|
| ① 沖縄盲学校 教諭 | 照 屋 ナミ子 |
| ② 沖縄ろう学校 教諭 | 金 城 由美子 |
| ③ 名護養護学校 教諭 | 仲 村 智 子 |
| ④ 美咲養護学校 教諭 | 与那覇 広 次 |
| ⑤ 大平養護学校 教諭 | 仲 村 稔 子 |
| ⑥ 島尻養護学校 教諭 | 与那嶺 順 子 |
| ⑦ 西崎養護学校 教諭 | 新 里 邦 子 |
| ⑧ 宮古養護学校 教諭 | 嵩 原 信 子 |
| ⑨ 八重山養護学校 教諭 | 石 川 敏 子 |
| ⑩ 泡瀬養護学校 教諭 | 照 屋 悦 子 |

平成9年度 長期研修員（前期） 「研修テーマ」一覧

（平成9年4月～9月）

課	校種	研 究 室	研 修 テ ー マ	氏 名	勤 務 校		
教育 経営 研修 課	小学	道 徳	心豊かな子どもが育つ道徳指導の工夫	－資料活用の工夫を通して－	嶺 井 る み	船 越 小	
		経 営	認め・高め合う学級集団を育む学級経営	－学級経営年間指導計画の作成を通して－	豊 里 美 和	八 島 小	
		特別活動	自発的、自治的活動を育てる児童会活動の工夫	－代表委員会の企画・運営を通して－	玉那覇 哲 秀	与那原小	
		教育相談	学校教育における養護教諭の役割	－健康認識を育てるための指導の工夫－	平 良 勢津子	大 山 小	
		教育相談	望ましい親子関係を深めるための援助	－保護者を交えた構成的グループ・エンカウンターを通して－	長 木 克 憲	百 名 小	
		教育学	教育機器を活用した学習指導の工夫改善	－ビデオ教材・機器を活用した体育学習の構想－	城 間 勝	伊良波小	
		へき地	複式学級における学習指導の工夫	－算数科3学年「わり算」におけるCAIソフトソフトの作成－	前 里 恭 子	大宜見小	
		へき地	A・B年度案による3・4年社会科の学習指導	－単元「すみよいまち」における指導を通して－	石 嶺 武	比 嘉 小	
	中学	道 徳	心豊かな子どもが育つ道徳指導の工夫	－郷土資料の開発と活用を通して－	仲 村 穰	中 城 小	
		経 営	学年経営の活性化をめざして	－学年経営計画の作成を通して－	神 元 勲	西原東小	
		特別活動	一人一人の自主性を育てる学級活動の工夫	－話し合い活動を通して－	鉢 嶺 幸 男	佐 敷 中	
		進路指導	自己理解を深め目的意識を高める効果的な進路指導	－保護者との連携を通して－	砂 川 ハツ子	松 城 中	
		進路指導	学級担任による効果的な進路指導	－年間指導計画にそった資料の整備と活用の工夫－	桃 原 節 子	玉 城 中	
		教育相談	いじめ問題への対応	－教師の意識調査の中から改善策を求めて－	上 原 秀 人	金 城 中	
		教育学	教育機器を活用した学習指導の工夫改善	－通信機器を活用した社会科のディベート－	宮 里 修	読 谷 中	
		高校	特別活動	自己実現を目指す進路指導の工夫	－ホームルーム活動における進路指導年間計画の作成を通して－	兼 島 宮 子	那覇商業
	教 科 研 修 課	小学	進路指導	将来の進路を自ら決定できる進路指導	－進路ノートを活用したホームルーム活動での進路学習を通して－	佐 藤 尚 之	小 禄 高
			教育相談	心を育む性教育	－生徒の実態に即した講演会を通して－	上 原 稲 子	那覇商業
			国 語	読書の生活化を図る学習指導の工夫	－第2学年「本はともだち」の展開を通して－	内 間 千 里	泊 小
			国 語	言語感覚を育てる学習指導の工夫	－第3学年の詩指導を通して－	崎 原 貴 子	とよみ小
社 会			社会的なものの見方・考え方を育てる学習指導の工夫	－問題解決的な学習を通して－	金 城 ゆかり	中 原 小	
社 会			国際友好について提案することができる授業の工夫	－6年「世界の中の日本」の交流活動による学習を通して－	與 儀 茂	港 川 小	
算 数			一人一人の考えを生かす算数指導法と評価の工夫	－問題解決的な学習を通して－	宮 城 若 子	島 袋 小	
算 数			数学的な考え方を育てる学習指導法の工夫	－問題解決的な学習を通して－	大 城 弘 美	北 丘 小	
中学		音 楽	一人一人に楽譜を読む力を育てる学習指導の工夫	－中学年の読譜指導を通して－	与那覇 郁 子	伊平屋小	
		保 体	個に応じた体育学習の指導と評価の工夫	－第6学年「ソフトボール」の指導を通して－	宇江城 詮	小禄南小	
		生 活	地域を学習素材にした生活科の授業作りの工夫	－主体的に栽培活動する児童をめざして－	中 村 トシ子	宇栄原小	
		国 語	主体的に学ぶ生徒を育てる話し合い活動の指導	－中学校国語科におけるディベートの工夫－	玉 城 栄 子	小 禄 中	
		社 会	学ぶ力を育てる社会科学習指導の工夫	－ワークシートの活用を通して－	新 垣 康 史	湧 川 中	
		数 学	数学的な見方・考え方を育てる指導と評価の工夫	－課題学習を通して－	上 原 仁	長 嶺 中	
		美 術	造形的な創造活動ができる授業の工夫	－紅型の教材化の研究を通して－	仲井間 憲 之	大 宮 中	
		保 体	個に応じた体育学習の指導と評価の工夫	－陸上競技の種目内選択制の授業を通して－	佐久川 穰 治	那 覇 中	
高校		英 語	Listening Skillを高める授業の工夫	－英語の歌や映画等の活用を通して－	富名腰 朝 勇	沖縄東中	
		国 語	古文への興味関心を高める学習指導の工夫	－「おくのほそ道」の教材をとおして－	饒 波 邦 子	南部工業	
		地 歴	歴史教育における平和学習の一考察	－「加害者の視点」を導入した沖縄史教材の研究－	照 屋 信 治	具志川高	
		数 学	BASIC言語を用いた数学指導法の工夫	－数学A「計算とコンピュータ」の単元構成を中心に－	金 城 伸 子	首里東高	
	英 語	コミュニケーション能力を伸ばす授業の工夫	－Summarization（概要・要点をまとめること）の指導を通して－	松 田 由美子	首里東高		
	幼児	幼 教	人とかわる力を育てるための援助の工夫	－リズム遊びを通して－	比 嘉 幸 子	金武幼稚園	
	理 科 研 修 科	小学	初等理科	児童が昆虫に興味・関心を持って学習する授業の工夫	－フグロビヨウモンの羽化観察を通して－	中 山 盛 弥	小 禄 小
		中学	技 術	電気領域における授業設計	－下位目標行動と関連づけたワークシートを活用して－	上 地 清 美	首 里 中
物 理			電気に興味・関心をおこさせる指導の工夫	－電力概念の指導を通して－	平 岡 まゆみ	平 良 中	
高校		家 庭 科	食生活における自己管理能力を育てる学習指導の工夫	－「食生活の設計と調理」の学習を通して－	上 地 清 美	浦添工業	
		生 物	インターネットを利用した授業資料の活用	－マルチメディア教材の作成を通して－	神 谷 乗 仁	読 谷 高	
		化 学	化学に興味・関心を持たせる指導の工夫	－化学I B「化学変化とその量的関係」を通して－	山 城 巖	具志川高	
		情報教育	小学校におけるコンピュータの活用	－調べ学習支援ソフトの作成－	田 島 正 敏	明 石 小	
情 報 技 術 教 育 課		小学	情報処理	MS Excelを使っての成績処理ソフトの開発	宇栄原 格	美 里 高	
	情報処理		Visual Basic for Windowsによる「流通経済」教材の作成	平安山 晶 子	八重山商工		
	情報技術		「情報技術基礎」におけるコンピュータの活用	－Visual Basicによる情報技術検定学習ソフトの作成－	坂名城 功	北部工業	
	情報技術		「第2種電気工事士」学習支援ソフトの作成	志良堂 博 一	美里工業		
	中学	特殊教育	領域・教科を合わせた指導の工夫	－生活単元学習に「書く」ことを取り入れた指導について－	当 銘 孝 子	新 城 小	
		特殊教育	聾学校における美術指導の工夫	－生徒が主体的に取り組める授業を目指して－	真栄城 優 子	沖縄ろう	
		特殊教育	養護学校における数のドリル学習ソフトの開発	－Hyper Cardを使って－	新 垣 静 恵	鳥尻養護	
		特殊教育	養護・訓練の指導の工夫	－重度・重複障害児の主体的な運動コントロールを促す「動作法」の試み－	新 崎 安 哲	那覇養護	
離 島 長 期 研 修 員	生 活	地域を学習素材にした生活科の授業づくりの工夫	－身近な植物を使った遊びを通して－	本 村 千香子	北 小		
	国 語	個性を生かし豊かな言語感覚を培う学習指導の工夫	－劇化を取り入れた表現の指導を通して－	根 間 秀 雄	狩 俣 中		
	道 徳	道徳実践力を育てるための授業の工夫	－資料活用・発問の研究を通して－	新 本 陽 子	新 川 小		
	国 語	豊かな言語力を育て表現力を高める指導と評価の工夫	－音読・朗読・群読を中心に据えた音声言語の指導－	小 浜 美佐子	名 蔵 中		
特別 研修員	交通安全 教 育	高校生の交通事故の内的・外的要因の事例研究	－交通安全指導の指針確立に資する－	知 念 正 和 新 垣 朝 也	沖縄工業 陽 明 高		